

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス さんらいず			
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日 ～ 令和7年3月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	14
○従業員評価実施期間	令和7年1月10日 ～ 令和7年2月28日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達に応じた支援を検討し、活動に取り組んでいる。	一人ひとりの発達に応じて支援内容を日々検討して、より良い支援に努力している。	一人ひとりの行動(出来事等)を全職員で共有して支援の方法などを検討している。また、利用している学校・保育所・相談支援事業所・関係機関と情報交換を図りながら、より良い支援方法について検討し合い利用者さんの成長を見守って行きたい。
2	利用者本人の体調や様子などをご家族からLINE等で常に情報交換している。	利用者の様子については、連絡帳やお迎え等の際に報告し、さらにはLINEにて活動の様子などを写真や動画を送り、連携を密に図っている。	今後もご家族とのLINE等でつながりながら、ご家族と共に利用者本人の成長につなげていく。利用者さんの様子だけでなく、講演会や催し等をLINEを通して、より広範囲な情報を提供していきたい。
3	令和6年4月より施設を移転したことにより、活動場所が広がった。	遊具を常設したり静かに活動する場所、動きを取り入れた場所、自由に遊べる場所など分けて活動ができるようになった。	敷地内の整備等を実地し、安全安心して送迎ができるようにし、さらに遊具を常設して外遊びを充実させていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族間の交流の場が少ない。	これまでミニ運動会(児童発達支援)では、ご家族も参加するように声がけを行っていたが、保護者全体への参加は計画していなかった。	保護者合同の行事などを計画し、可能な範囲で保護者間の交流する機会を作っていきたい。 例、いちご狩り、運動会、夏休みや振替休日お出掛け等
2	ペアレント・トレーニングなどの研修会などの取組が提供できていない。	事業所開所時にペアレント・トレーニングの講演会を実施したが、それ以降実施していない。	ペアレント・トレーニング研修会等の情報提供に努めていきたい。
3	地域との交流の場が少ない。	近隣のいちご農園にて、毎年いちご狩りをさせて頂き交流している。また、就労支援施設や商店、子どもセンター、町施設体育館や図書館等に出向き、ささやかではあるが、交流を行っている。	地域との交流がさらに深められるように、積極的に交流する機会や内容を検討して進めていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス さんらいず

公表日 令和7年4月28日

利用児童数 令和7年1月10日 回収数 14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1		1	定員数（最大）多い時どのようなになっているのかは見たことがないので、先生もどのくらいの人数がいて、子供たちも十分なスペースがあるかわからなかったです。	現在の施設に移転し2棟を有効に活用でき、これまでの施設に比べると十分とは思えないが、広くなり、活動できています。ダイナミックな活動の際は、市民体育館や公園（屋内・外）を利用して、子ども達の心身の発達につなげています。今後活動の様子を見学して頂く機会を計画したいと思いますが、都合の良い日いつでも見学にいらしてください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			1		利用者数に対して十分な職員を配置致しております。常時支援に当たる職員6名＋1名（月2回）となります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1		1	今後お子さんもうる病見学してみたい気持ちもあります。	利用者のニーズに応じて改善して参りたいと思いますので、何かありましたらご連絡をお願いします。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1			自宅へ送迎をしている家庭もあるんでしょうか？	ご家庭の都合で、自宅まで送迎することもあります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3		4		両方利用されているお子さんと利用されていないお子さんに相違があるか思います。放デイのみ利用されているお子さんへの交流の機会につきまして各保護者さんへ説明しながら進めていきたいと思っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	1	4	難しいと思いますが、あると助かりますし、勉強になると思います。	さんらいず開設時に講演会を実施致しましたが、その後実施できずしております。本施設の実施を検討致します。また、他機関実施の提供を進めて参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14				いつも細かくありがとうございます！	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				学校より理解して下さっていますごく助かります！	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3		1	10		新年会には、保護者の方々と一緒に活動を計画し、交流の機会を設定したいと思います。話し合う中で保護者会や兄弟交流会等を次第に作り上げていきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			2		相談があった際は、プライバシーを守りながら、迅速に対応しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					

非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			2		個人ファイル他重要文書類は、鍵付き書庫に保管しています。その他の文書等、留意するよう日々声かけをしています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			1		地震・津波・火災想定避難訓練を年4回設定実施しています。保護者の皆さんにご理解出来るようおたよりで、その様子を報告しております。目にとまるよう工夫して参りますので、よろしくお願ひ致します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	13			1		子どもの安全確保のため、安全計画を策定し、安全点検、安全指導、訓練・研修に取り組みでおります。ご理解いただきますよう。よろしくお願ひ致します。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1		契約の際に説明させて頂いております。これまでに緊急を要する事故等の発生はありませんが、今後も無事故で運営できるよう見守って参ります。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				長期休み、振休等の利用しかしていませんが、不安な顔をすることなく通所でできています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14					
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				対応が気になる先生が1人います。いつも感謝しています。	支援の仕方については、毎日の打合せで共通理解を図り、個々に合わせたより良い支援となるよう話し合っております。気になることがありましたらいつでもご相談ください。全職員日々学びながら保護者の意思に応えられるよう努力して参ります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス さんらいず		公表日		令和7年4月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・広さの点で狭さを感じることもあるが整理整頓し工夫している。 ・以前よりは広くなり利用人数が多い時は、A棟B棟2つの部屋で分けている。 ・A棟B棟2棟を有効に活用している。	新施設となり、利用者に対応して2棟を有効に活用している。今後更に未使用スペースを有効活用できるように工夫していきたいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	・長期休みの午前（児発・放デイ）忙しいところではあるが、全職員協力体制を整えている。	今年度常勤職員が増え、支援体制が放デイ：利用者8～9名に対して職員6～7名となりました。安全安心して利用支援できるよう全職員で見守って参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・各施設の空間の段差が気になる。スロープつけると手を添えなくても見守ることで歩行可能。	新施設利用1年を経過し、色々な不具合を確認していきながら、環境整備に当たっていきしたいと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・清潔とは言えないところがある。	安全点検にてチェックし、必要であれば全職員で改善対応していきたいと思っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・宿題、おやつ、クールダウン部屋とそれぞれ分けられるスペースは、ある程度ある。 ・部屋を有効活用できるよう、工夫している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・打ち合わせでいろいろなことを情報共有しているが、なかなか反省や改善ができないことも多い。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		アンケートを全職員で確認し、改善につなげていくよう進めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・打ち合わせ等で話す機会はある。職員の個別面談も必要に応じて実施必要と思う。 ・例年は反省会を実施しているが、昨年度は、引越しのため話し合いが進めなかった。今年度は実施していく。	今年度は職員面談を実施し、広く職員の気持ちを傾聴し全職員お仕事の環境改善につなげていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	・第三者で評価してくれる人がいるのか不明。 ・外部評価して頂く方を選出し改善につなげていきたい。	第三者評価機関に評価して頂くことは、有料高額なため経営上難しい面もある。このため、近隣外部関係機関の方にお頼みする方向で進めていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・以前よりは外部の研修に参加でき数強になる部分が増えてきた。今後も研修を受けたい。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・担当者会議、年2回程度の面談にて保護者から課題を聞いている。子どもからは聞けていない。	子どもさんの成長に合わせて、本人の意向もお聞きし、担当者会議の出席も促していきたいと思います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・面談時に全員で打ち合わせし、情報を確認し作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		指導員の話し合いにて、支援の見直しや振り返りを年2回実施しています。また、毎日の打合せにて支援の見直し改善を試みています。気になることがありましたら、相談頂き対応して参りたいと思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・契約時にご家族から子どもの様子を聞いてアセスメント作成している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・支援計画を表示している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・打ち合わせで活動内容を確認している。 ・人数的に難しいのでチームというよりは、個人で計画することが多いように思います。担当を変えれば違った形のものが出てくるのではないのでしょうか。	担当者を複数にして、立案実施できるように進めていきたいと思っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・情報共有しながらいろいろな活動を取り入れている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・その日に振り返りはできないが翌日打ち合わせで確認している。 ・次の日の打合せにて支援について振り返り支援の仕方を共有している。 ・次の日の打合せがある時は良いのですができないときもある（長期休暇中とか）	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・リタリコ、その他メモ等で記録を記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・年2回モニタリング実施	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	4	1	・出来る範囲で行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・自己選択できそうな子に対しては、何がしたいか？を聞く、できない子は、その日の体調や状況に応じている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・担当が出席している。可能であればサビ管と担当2名で出席がいいと思う。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・保健師さん、保育所、学校と常に情報共有して利用者を支援している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・毎月利用予定を配布し、下校時刻や予定を確認連絡調整は、お迎え時や会議等で情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・相談支援事業所さんを通して聞くことがあった。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	・スクエアさんであれば助言を受けている。 ・みやぎスクエアサポートセンターと連携を図り、支援の仕方について、定期的に会議情報交換している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・コロナ等で交流できていない。 ・利用者により様々である。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・こども部会？参加したことはないが会社としては、出来るだけ参加協力している。	
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡簿やお迎えを通して伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	・ご家族でペアレント参加したいと言っている方もいた。研修の案内が来たら紹介してあげる必要がある。	・事業所開所時にペアレントトレーニング講演会を実施した。研修会等のパンフレットにて提供している。今後さらに研修会等の情報提供に努めて参ります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約の際に説明をきちんと相手に伝わるように言っているはず。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・お迎えや面談時、その他相談があった場合はアドバイスをする。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	・コロナや引越等もあり行えていない。R7年で5年目になるので、こういった機会をまずは、年1回実施する機会を作る。 ・今後、保護者会等を設立し交流する場を設けていきたい。	新年度は、保護者会等の行事を計画し、可能な範囲で保護者同士の交流する機会を作りたいと思っています。児童は運動会、放デイは夏休み、振り休日などに計画し、話し合いの中で父母の会の活動が無理負担なく進められたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・苦情がよくわからないので対応できない。苦情があれば対応したい。	移転の際、駐車場の使用についてご指導を受け、おたよりや送迎の際の協力声かけを出来るだけ早く対応致しました。何かある際は早めに口頭、ライン等にてお伝え頂きましたら、迅速に対応致しますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月のおたより発行、HPにおたより掲示している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		常に机上整理に努めるよう声がけて、意識づけて参ります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・口頭で伝わらない場合は絵カードや伝えたいことをまとめて紙に書いて伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	2	4	・引越して1年のため地域の活動には参加していない。 ・まだまだ、これから地道に周知していくことが必要かと思っています。	移転した昨年度は、町の民生委員さんの見学を招待致しました。今年度は、より地域の方々とながりがもてる機会を増やしていきたいと思っています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・今回作成しご家族へ説明と配布した。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		自然災害発生時における避難訓練は年4回実施しているが、新型コロナウイルス感染症については、文書のみで留まっていますので、早急に研修して意識を高めて参りたいと思っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1		服薬やてんかん発作体質については、詳細を確認し変化があれば連絡を頂き対応しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・アレルギーについて保護者からの報告で把握し対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・少しずつこれからでしょうか	安全計画に沿って、今後更に必要な研修、訓練を進めて参りたいと思います。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	・対象の方がいない	現在対象者がおりませんが、今後該当するお子さんがいた場合は、保護者さんに事前に相談させて頂き、お子さんの成長により良い対応の方法を探って参りたいと思います。